

平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
 (コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

平成 30 年 9 月期連結業績の前年同期実績からの差異に関するお知らせ

当社は、連結業績予想の公表を差し控えさせていただいておりますが、平成 30 年 9 月期（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 9 月期 業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前年同期実績 (A) (平成 29 年 9 月期)	10,046 百万円	3,233 百万円	△2,446 百万円	△4,004 百万円	△113.17 円
今回発表業績 (B) (平成 30 年 9 月期)	9,995 百万円	1,832 百万円	1,478 百万円	74 百万円	2.09 円
増減額 (B-A)	△51 百万円	△1,400 百万円	3,925 百万円	4,078 百万円	—
増減率 (%)	△0.5%	△43.3%	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、タイ王国、ミャンマー連邦共和国では拡大した一方、カンボジア王国、インドネシア共和国においては事業再編を進めていることから一時的な減少となったことに起因し、前年同期実績より 51 百万円減少し 9,995 百万円（対前年同期実績 0.5%減少）となっております。

営業利益につきましては、主に各事業において新たなビジネスモデルの構築、海外事業の開拓、人材育成などの先行投資的経費を投下したことから、販売費及び一般管理費が 1,065 百万円増加（対前年同期実績 19.2%増加）したことに伴い、1,400 百万円減少し 1,832 百万円（対前年同期実績 43.3%減少）となっております。

経常利益につきましては、上記の要因に加え、前連結会計年度で発生した多額の持分法による投資損失等は当連結会計年度では計上していないことから 3,925 百万円増加し 1,478 百万円（前年同期は △2,446 百万円の経常損失）となっております。

親会社株主に帰属する当期利益につきましては、上記の要因に加え、前連結会計年度で発生した多額の特別損失等を当連結会計年度では計上していないことから、4,078 百万円増加し 74 百万円（前年同期は △4,004 百万円の純損失）となっております。

以 上